

NPOと市民をつなぐ

発行者：西宮市・NPO等公益活動市民団体啓発事業実行委員会

発行日：平成30年3月1日

みやしるべ



March 2018

特集

| みやたんとの対談 /

「西宮のNPOは楽しいね！」
水色の妖精みやたんが
NPOの宝物を探しにきました！



NPO訪問記

- 海浜の自然環境を守る会 ━━━━━━ P3
- 支援の会ひまわり ━━━━━━ P4
- 障害者生活支援センター遊び雲 ━━━━ P5
- TOPO ━━━━ P6
- NicCL西宮暮らしやすい地域をめざす会 ━━ P7
- 日越親善協会 ━━━━ P8
- 阪神文化財建造物研究会 ━━━━ P9
- 武庫川スポーツクラブ ━━━━ P10

西宮市観光キャラクター みやたん



特集



「西宮のNPOは楽しいね！」

「みやたんに西宮のNPOのこと、知つてもらいたいから何でも答えます」

お相手：NPO等公益活動市民団体啓発事業実行委員会
委員長 東朋子さん



東 NPOとこう言葉は「Non-Profit Organization」という英語の頭文字をとつて略した名称で、直訳すると「非営利組織」という意味なの。「法人格の有無にかかわらず、目的を達成するための公益的な活動を継続的、自発的に、社会貢献に寄与する営利を目的としない団体」ということね。簡単に言うと、みんなが知っている地域活動（自治会や子ども会等の活動）とは一味違う「新しいみんなの応援団」みたいな役割をしているの。なかでも法人格を持つNPOのことを「特定非営利活動法人」または「NPO法人」と呼ぶわけ。西宮市内には169のNPO法人が主たる事務所を登記しているよ。

みやたん こんなにちはーみやたんー今日はみやたんにNPOのことをたくさん知つて欲しいから、わからないうことがあれば何でも聞いてね！ 東さんはNPOで活動しているんだってね。NPOのこと教えてー！

東 NPOとこう言葉は「Non-Profit Organization」という英語の頭文字をとつて略した名称で、直訳すると「非営利組織」という意味なの。「法人格の有無にかかわらず、目的を達成するための公益的な活動を継続的、自発的に、社会貢献に寄与する営利を目的としない団体」ということね。簡単に言うと、みんなが知っている地域活動（自治会や子ども会等の活動）とは一味違う「新しいみんなの応援団」みたいな役割をしているの。なかでも法人格を持つNPOのことを「特定非営利活動法人」または「NPO法人」と呼ぶわけ。西宮市内には169のNPO法人が主たる事務所を登記しているよ。

（2017年12月現在）
みやたん へえ、NPOってたくさんあるんだね。それどころかNPOは、20の活動分野が決まっていて、該当しないと特定非営利活動とはみなされない。全部は紹介できないけど保健、医療又は福祉の増進を図る活動や「子どもの健全育成を図る活動」、「まちづくりの推進を図る活動」や「地域安全活動」もあるわ。NPOは様々な特定非営利活動をカバーしているから、みやたんも関係するいろんな分野で活躍しているよ。

みやたん さっき東さんが言つていた「非営利」ってなあに？ 東 簡単に言うと「営利を目的としない」ということだけど、「営利」というのは「利益を追求する団体の利益を構成員が分配すること」という意味があるの。大事なことは、この「分配」ところにあって、「非営利」というのは「利益を上げてもその利益を構成員（会員など）に分配しない」ということなの。団体が対価を得て、売上を上げ、そこから経費（給与等も含む）を差し引いて残った利益を団体の構成員に分配しないなり、それは非営利団体になるのよ。「NPOが収益事業をしてダメなんじやない？」とか「給与や謝金を払っちゃいけないんじゃないの？」とか言われる」と

が多いけど、それは「非営利」という言葉をよく理解していないから起こる誤解なわけ。
みやたん NPOで活動している人々はみんなボランティアなの？どんなやりがいがあるのかなあ？

東 もちろんNPOからお給料をもらっている人はたくさんいるわよ。そしてボランティアさんもたくさんいるわ。働き方は様々で、今いちばん多様な働き方を受け入れているのはNPOじゃないかなあ。まだ新しい組織だから、みんなの話し合いで関わり方を決めることが多いの。だから働きやすいし、関わりやすいのよ。そんなNPOのみんなは、関わる皆さんからの「感謝の言葉」がいちばんうれしいの。皆さんのハッピーをお手伝いできていることが一番のやりがいだと思うわ。だから皆さんは、「ありがとうございます」と言って言われるともとと頑張るうつ思うのよ。それにいろんな人と出会えて、いろんな考え方ができるよう



になるのもやりがいに繋がつて
いるんだよね。

みやたん NPOの活動って市役所の仕事と一緒なの?

東 「市民の幸せのために」という点では一緒に市役所の皆さんでは、手の届かないところをきめ細やかに、スピーディに対応するのがNPOの仕事なの。NPOは社会的な使命を達成することを目的に設立されているのよ。

みやたん ふーん、NPOの人たちは社会に役立つ活動をしているんだね。

西宮に住んでいるみんなはそのこと知っているのかな?

東 それが、まだまだ知られていない。私は今回西宮市内に主たる事務所を置いている169すべてのNPO法人を9月~11月までの3か月をかけて個別訪問してきたけれど、西宮に住んでいるみんなにもっとと知つてもらうためには、NPO法人から情報発信する努力ももっと必要だと感じたわ。

みやたん 169ヶ所、全部行つてきたの?!東さん、すっごい!

東 日々の活動でとても忙しいから、なかなか情報発信まで手が回らない団体や、事務所が移転してしまったり、既に活動をしていなかつたりする団体もあったけれど、そもそもNPOを始めよう!と思う皆さんには社会課題

を解決したいという熱い想いと人とのネットワークが備わっているから、とても頼りがいがある!

ということがわかったわ!それにお会いするとみんなその分野の専門家!困ったことがあったら、相談にのつてもらえる団体も多かったのよ!..

みやたん 東さんの話を聞いて、もっとNPOのことが知りたくなってきた。どうやつたら知ることができるの?

東 実は法人格を持つNPO(NPO法人)は、みんなに知つてもう活動をしているのかを広く情報公開しているのよ。知つてた?西宮市内だけではなく、全国のNPO法人で興味がある団体があつたら、「内閣府NPO法人ポータルサイト」でネット検索するとその団体情報をいつでも見ることができるようになつていてよ。

みやたん へーえ、他にもなにか西宮市内のNPOを知る方法はあるの?

東 もかるん!!西宮市では「NPOと行政との協働会議」のNPO部会メンバーの有志によつて結成された「NPO等公益活動市民団体啓発事業実行委員会」という組織があつて、市役所と協働して、毎年、活動を広く市民の皆さんに知つてもらつたための「NPOフェスティバル」の開催(3月)や広報誌「NPOと市民をつなぐべ」でNPOの発行をしている。

やしるべ」の発行をしている。

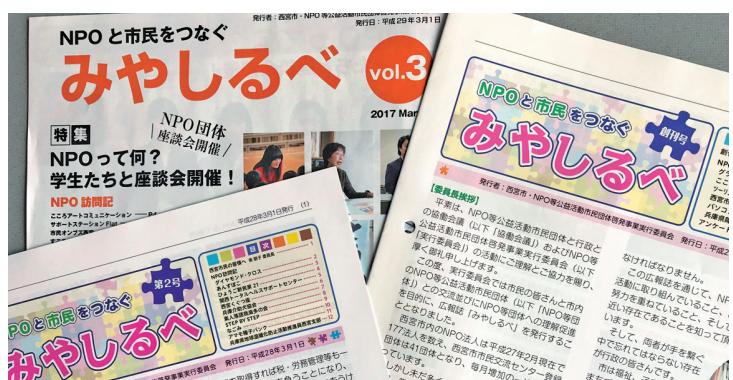
みやたん NPOフェスティバルはみやたんも毎年行って参加しているよ。次回も楽しみにしてるね!

この「みやしるべ」も参考になるよね。はじいかで見ることができるの?

東 広報誌「みやしるべ」は、「西宮市」と「西宮市市民交流センター」のホームページでも見ることができますよ。NPOについて少しでもわからないことがあつたら、ぜひ、「西宮市市民交流センター」へ気軽に問い合わせてもらいたいな。「NPOフェスティバル」や広報誌「みやしるべ」で気になるNPOがあつたら、連絡を取つてから訪ねてみるのもいいかも!!

みやたん NPOって何か楽しそう!今度実際にやってみるね。東さん今日はどうもありがとう!

東 こちらこそ、ありがとうございます。みやたん!これでみやたんもNPOの応援団だね!



甲子園浜を歴史とともに 残しつづける

人と自然の共生・海浜の環境保全の普及啓発を目的に2004年1月設立



NPO 法人

西夏江

理事長 夏江酉

連絡先

〒663-8143 西宮市枝川町19-10

西宮市甲子園浜自然環境センター内

甲子園地区埋立事業対策協議会会員付

TEL・FAX: 0798-49-1403 (事務局 崎川)

Mail : info@npo-koshienhama.com

URL : <http://www.npo-koshienhama.com/>

明治時代、甲子園浜が漁場や海水浴場だったことをご存知でしょうか？ 時代につれて姿を変えてきた甲子園浜の保全活動をされているのが「海浜の自然環境を守る会」です。理事長大西さん、事務局長岸川さんにお話を伺いました。

兵庫県が甲子園浜埋立計画を発表したのは昭和46年。南甲子園小学校のPTAのお母さんたちが、子どもの教育環境と地域の住環境を守るために立ち上がりました。地域の住民運動に発展した昭和50年頃、大西さんもPTA活動をされていて、それが現在のNPO活動の原点となります。

PTA活動をされていて、それが現在のNPO活動の原点となります。

た。地域の住民運動に発展した昭和50年頃、大西さんもPTA活動をされていて、それが現在のNPO活動の原点となります。

行政訴訟協会の本部で、現地調査・公判傍聴・請願など様々な粘り強い運動の結果、昭和57年に和解成立しました。「住民運動って過激なイメージがあるけど、お母さんたちで楽しくやってきたのよ。市長さんに話を聞いて

「NPOだと感じました。」
——今後の展望

—NPOとして活動展開
その頃の仲間が中心となつて、人と海浜と自然について理解を深めるための普及啓発活動を継続され、平成16年NPO法人となりました。年に数回の海浜清掃は、自会へ呼びかけることで、毎回100名ほどが参加。企業の協力もあるそうです。日常的な植生調査や「大阪湾生き物調査」にも毎年参加されていきます。小学校の環境学習への協力、調査結果や浜にまつわる作品の展示会などもさわっていて、本当に地域密着型のNPOだと感じました。



こから子どもが在宅する夏休みを除き100日間続きました。住民だけでなく弁護士、研究者まで理解して下さい。運動が広がって本当にありがとうございました」という大西さん。「楽しみながら」というところが、この団体の肝なんだなあと思いました。

ちの活動のみならず、社会問題として認識してもらえるよう地域や企業への働きかけを続けていかれることと
思います。

地元の多様な方々とのつながりや、甲子園浜への愛着を強く感じることができました。NPOのお手本なのでしょうか。快く取材に応じていただきありがとうございました。（訪問者 廣田）

NPO法人
支援の会ひまわり
理事長 小泉 邦昭

高齢化する透析患者の通院支援に応えようと発足。2002年にNPO法人に。

連絡先
〒663-8215 西宮市今津水波町1-7
ドミトリー高木1F
TEL: 0798-39-0871
FAX: 0798-36-9732
Mail: sien-himawari@aroma.ocn.ne.jp
HP: 支援の会ひまわり 検索

透析患者を送迎する唯一のNPO



阪神・阪急今津駅の改札から徒歩一分ぐらいという便利な場所にある「支援の会ひまわり」の事務所をお訪ねし理事長の小泉邦昭さんと理事で事務局長の青砥厚一さんからお話をお聞きしました。

一発足の経緯

透析患者の会である兵庫腎友会の仲間では「透析患者は高齢化に伴い自力での通院が困難になつてくるが、この通院支援をする機関が必要である」という話し合いが続いていました。

そして平成九年に「要介護透析患者を支援する会」が発足し翌年の平成十年より「徒步や自家用車」で通院支援を開始、その後、兵庫腎友会阪神ブロックや日本財団等の応援を得て専用車での送迎が可能となり、平成十四年にNPO法人化したそうです。

一主な活動の内容

「支援の会ひまわり」は、通院支援で提携している施設(現時点では、尼崎市の永仁会病院・北永仁会クリニック・宝塚市の宝塚病院・くきクリニック・川西市の協立病院・第二協立病院)への通院送迎を行い、送迎利用対象者は前記送迎可能施設へ通院しておられ、NPO法人兵庫腎友会及びNPO法人



一課題と皆様との連携

慢性腎臓病の方は年々増加し全国で約千三百万人おられると推定されていますが、自覚症状のないまま次第に進行して透析が必要な状態になつてしまいがちです。当法人では予防のために講習会を適宜開催しています。もの理解は進み難い面もあります。

また、透析のための送迎には専用車の「ドライバー」や院内での「見守り」や、「ちょっととした手助け」をする方があります。

有償ボランティアとしてご協力をいただける方のお申し出がいただけないと在り難いと呼びかけられています。

阪神地域で透析患者送迎を専用としている唯一の団体だけに課題の解決に向けて理解者の輪が広がることを期待しています。(訪問者 立田)

知りたかったのでお聞きしました。
送迎サービスを円滑に進めるためには「送迎車」の置き場所やその他関連する事項について病院・医院側の協力が必要ですが、西宮市では個々に自前の送迎をしている場合が多いというようなことが主な原因のようです。

NPO

訪問記

障害者がイキイキと暮らせる 社会をめざして活動

遊び雲

NPO法人

障害者生活支援センター遊び雲

理事長 福永 年久

2003年支援費制度をきっかけに西宮市で介護派遣事業所NPO法人「遊び雲」を設立し、居宅介護、家事援助、身体介護、外出支援などを通じて、障害者がイキイキと暮らせる社会をめざして活動しています。

連絡先

〒662-0862 兵庫県西宮市青木町12-5

TEL: 0798-75-6340

FAX: 0798-75-6341

Mail: asobigumo@email.plala.or.jp

URL: http://asobigumo.net/



NPO法人設立まで
NPO法人設立までの経緯を代表の福永さんにお伺いしました。福永さんは脳性マヒの障害者。1976年姫路で自立生活を始められ、西宮に転居されてから1988年に「自然食品店きんとーん」を中殿町に、1989年に「きんとーん」作業所を上之町にオープンされました。「きんとーん」の名は西遊記の「キントウ」からきており、障害があつてもどこでも自由に行き事ができるようにとの願いからネーミングされました。「遊び雲」も同じ由来だそうです。

その後、福永さんたちの活動を阪神淡路大震災がお

1988年に「自然食品店きんとーん」を中殿町に、1989年に「きんとーん」作業所を上之町にオープンされました。「きんとーん」の名は西遊記の「キントウ」からきており、障害があつてもどこでも自由に行き事ができるようにとの願いからネーミングされました。「遊び雲」も同じ由来だそうです。

その後、福永さんたちの活動を阪神淡路大震災がお

遊び雲ではヘルパー約50人が登録されており居宅介護・重度訪問介護・ガイドヘルプ等のヘルパー派遣を行っておられます。

NPO法人障害者生活支援センター遊び雲は、居宅介護事業・遊び雲と地域活動支援センター・きんとーん作業所の2つを中心に活動されています。

その後、甲子園口に仮設の喫茶ギヤラリー「遊び雲」を開設。その後、越水町に移転し、福祉制度の転換を機に、障害者生活支援センター「遊び雲」として2002年にNPO法人に認証されました。

当初、制度も何もない時代、自立したい障害者がおられ、それを支援するボランティアがいて、地域での暮らしを支えていました。現在は、整備されてきた制度に流れやすい状況もありますが、初心の「障害者の自立を支援する」という立ち位置を確保していきたいとのことでした。



障害者がその余暇を楽しくイキイキと過ごすことを考え、サポートするNPO。
2017年4月設立。



お休みの日をイキイキと過ごしたい。 ワクワクするような人と出会いたい。



「18歳以上の障害者を対象に就労支援を行う団体の数と比較すると、『余暇支援』に取り組んでいる団体は非常に少ないです。どんな人でも仕事に就き始めるとな運動不足になってしまい、気晴らしが必要になりますよね。お仕事が終わった後や、

主な活動として、発達障害や知的障害などのハンドディキヤップを持つ方々を対象にした「余暇支援」をされています。その内容は、自然の中を駆け回る里山クロスランや水泳指導、音楽、宿泊キャンプなどアクティビティ要素が目立ちます。事務所内には、ハンモックやテントが置かれ、お洒落で落ち着く雰囲気が詰まっています。さらにTOPOのサポートーーと利用者がお揃いのTシャツを着て、まるで家族のように仲良く過ごされていました。

ー活動にかける想い

「18歳以上の障害者を対象に

JR甲子園口駅近くに事務所を構える「NPO法人TOPO(トポ)」は、2017年4月に設立された新しい法人です。

ー活動のルーツ

平井さんは当初、健常者の水泳指導をされていました。その活動が徐々に発展し、腰痛に悩む方向けの水泳指導をされた後、障害を持つ方々を対象とした水泳サークル「マンターズ」を設立されました。水泳サークルは、現在でも事業内容の中核となっており、レベル別に三段階の水泳指導をされています。なかにはパラリンピックや国体への出場が狙えるほど、レベルの高いメンバーもいらっしゃるそうです。

ーNPOフェスティバルに向けて

取材当日は、新しく始められたSTOMP(廃材を利用して作成した演奏)の練習をされていました。2018年3月に開催されるNPOフェスティバルでのステージ演奏に向けての練習でした。メンバーとサポートーー、保護者の方が手づくりの楽譜と一緒に見ながら、先生から指導を受けていました。タイミングや楽器の音量調節に苦労しながら、とても楽しそうに演奏されていました。時間が経つにつれて考えさせられました。どこかありました。自然と触れ合うレクリエーションや身体を動かすスポーツができるTOPOのプログラムは、とても有意義で、感謝しています。このお話を聞き、私も余暇の過ごし方にについて考えさせられました。どこかありました。日々を送るのでなく、非日常の時間を誰かと過ごすこと、誰にとっても新しい発見を得られるイキイキとした機会なのだと感じました。NPO法人TOPOの今後のさらなる発展を願っています。

取材当日、理事長の平井さん



とスタッフの田中さんだけではなく、利用者の保護者の方からもお話を聞くことができました。保護者の方が語られたのは、NPO法人TOPOへの感謝でした。「大人の余暇の過ごし方といえば、カラオケや映画など限られた選択肢の中で考えが

NPO法人

NiCCL 西宮暮らしやすい 地域をめざす会

理事長 丸田 芳裕

連絡先

〒663-8156 西宮市甲子園網引町2-11

TEL: 0798-42-0126(森下)

Mail : sparks@ams.odn.ne.jp

URL : <http://www1.odn.ne.jp/~adu77280/hp20/niccl-top.htm>

障害者に対して地域生活支援に関する事業を行い、
地域生活の質の向上に寄与することを目的として
2003年12月にNPO設立。



西宮ガーデンズ東側の名神
高速の北、ポツンと残った畠
の前のマンションの1Fに、
NPO法人「NiCCL」西宮
暮らしやすい地域をめざす会
が運営する地域活動支援セン
ター「スパークス」がありま
す。住みたいまちナンバーワ
ンと言われる西宮ですが、「暮
らしやすい地域をめざす」に
興味を持ち、センター長の前
田さんとスタッフの森下さん
にお話を伺いました。

暮らしやすい地域をめざす
スパークスの案内には「ここ
の病気のために日常生活の
しづらさを感じておられる方
たちが、ご自身の目的に合わせ
て過ごす場所」とあります。お

二人から、我が国の心の病気に
対する考え方、戦後のGHQ
による指導やライシャワー大
使事件など、現在に至るところ
の病気に関する歴史を教えて
いただきました。年齢、性別、

スパークスの案内には「ここ
の病気のために日常生活の
しづらさを感じておられる方
たちが、ご自身の目的に合わせ
て過ごす場所」とあります。お

二人から、我が国の心の病気に
対する考え方、戦後のGHQ
による指導やライシャワー大
使事件など、現在に至るところ
の病気に関する歴史を教えて
いただきました。年齢、性別、

障害の有無、文化などの違い
にかかわりなくだれもが地域
社会の一員として支え合う中
で、安心して暮らす、一人ひと
りが持てる力を発揮して元気
に活動できるユニバーサル社
会をめざす世の中を、私たちが
もっと知つておくべきことと
感じました。

日々の調理やプログラムは、
生活スキルの向上、趣味や生
活の楽しみの発見、生活を豊
かにするなどの目的のために
様々なものが行われています。
調理の有無、文化などの違い
にかかわりなくだれもが地域
社会の一員として支え合う中
で、安心して暮らす、一人ひと
りが持てる力を発揮して元気
に活動できるユニバーサル社
会をめざす世の中を、私たちが
もっと知つておくべきことと
感じました。

スパークスではいろいろな樂
しいプログラムが用意されて
います。

毎日午前中は調理、取材当
日午後は色を楽しむ会いわゆ
る大人の塗り絵。ボランティ
アの方により原画と色鉛筆・
クレヨン・クレパスが用意さ
れ思い思いの塗り絵が始まり

スパークスではいろいろな樂
しいプログラムが用意されて
います。

毎日午前中は調理、取材当
日午後は色を楽しむ会いわゆ
る大人の塗り絵。ボランティ
アの方により原画と色鉛筆・
クレヨン・クレパスが用意さ
れ思い思いの塗り絵が始まり

みんなで外出するプログラ
ムもあります。カラオケや卓
球・ウォーキングを行う動こ
うの会などのプログラムを立
派な体格の男性が楽しそうに
語つてくれました。健康管理
も選択肢の一つです。

スパークスを訪ねてみませ
んか?

気になつた方、スパークス
を訪ねてみませんか?色々な
サポートがあるようです。
また何かお役に立てることが
見つかるかも。見学をしてみ
たい方、まずはご連絡を。

2017年 11月 プログラム						
火	水	木	金	土	日曜	月曜
—	1 お休み	2 AH 調理 PM 生誕会 ※ベイクドチーズケーキ	3 AH 調理 文化の日 PM ミーティング	4 AH 調理 PM フリー	—	—
7 AH 調理 PM 外出レク 会	8 お休み ※プラザワーム	9 AH 調理 PM おもやか面館 ※美濃加茂市飲食店協会	10 AH 調理 PM 自主作品作成 会	11 AH 調理 PM フリー	—	—
14 AH 調理 PM お菓子作り	15 お休み	16 AH 調理 PM タエクナ	17 AH 調理 PM 第二回会 ※パン・アンド・チーズ	18 AH 調理 PM フリー	—	—
21 AH 調理 PM お菓子作り	22 お休み	23 労働感謝の日 AH 調理 PM 色を楽しむ会	24 AH 調理 PM ヨガ ※屋外食会 （交換センター体育室）	25 AH ￥屋外食会 PM フリー 夜の部	—	—
28 AH 調理 PM 大掃除 ※夕食会	29 お休み	30 AH 調理 PM 色を楽しむ会	—	—	—	—

スパークス自主製品の展示販売会を開催しています。
少年羽根字へラトルタブレットに行きます。この日は少し早めに昼食を始めます。
～行きます。脚録がナシです。

NPO

訪問記

西宮からベトナムへ 友好の架け橋を

NPO法人
日越親善協会
理事長 酒井 広徳

2016年7月NPO法人設立。
日本とベトナムの交流を通じ、
両国の繁栄と発展に寄与する。

連絡先

〒662-0075 西宮市南越木岩町11-12
TEL: 0798-77-4752
Mail: nichietsu.shinzen@gmail.com
URL: http://nichietsushinzen.com

—越の国とお酒

日越の「越」とは、かつて
越南国とも呼ばれたベトナムのことです。「この国では
何か打合せをしようとする
と『まずは乾杯だ!』となる
のです。」と理事長の酒井広
徳さんが笑いながら話して
くれました。「ともかく酒を
飲んでから、仕事の話はそれ
からよ。というのがベトナム流なのです。私は若いときから酒席は大歓迎で、そのおかげで人脈も広がりました。
「では『あれは酒の席の発言
だから』という言い訳は通用
しないのですか?」「日本とは
違う、この国では酒の席の
発言こそが本音なのだ」と認識
されるのです。ううん、どうやらここは呑兵衛にはとても楽しい国のようです。

—設立のきっかけ



2016年にNPO法人を設立したきっかけを伺いました。それまでベトナムで事業を開拓してきた酒井さんに對し「ベトナム政府・ベトナム総領事館から、経済交流に特化した親善協会を立ち上げて欲しいとのご依頼があつたのです。」文化や芸術、スポーツ等で交流を深める団体は多いものの、実はこの国の政府が日本に最も期待していることは経済面での交流。ベトナム人の平均年齢はなんと二十歳代後半、若く元気で勤勉な国民が多く労働力は豊富なのです。が、産業を底支えする技術力に乏しく、ここに両国の経済交流が求められているそうです。「日本での法人設立の上でのNPO法人がパブリック的にも適していたので、設立させて頂きました。」

—実際にどんな事業を?

では、具体的にはどんな事業活動をしているのでしょうか。「当協会では、日本企業とベトナム企業をビジネスマッチングさせるイベントやベトナムの経済、文化を知つて頂くセミナー、文化交流の場としてベトナムフェスティバルなどを行つております。」それに賛同して会



—これからめざす目標

この質問に酒井さんは「大きなことを言いますが」と前置きして「日本とベトナムの相互的な交流を通じて、アジアの平和に貢献することをめざしています。」と語りました。「例えば西宮市の友好都市にベトナムの都市が入ることができるれば、その第一歩です。今後に注目したいNPOです。(訪問者 白石)

員となつた法人・個人は現在、併せて約200名。ベトナム人の技能実習制度セミナーや両国の経営者交流会の企画推進、あるいは、日本とベトナムの伝統音楽を聴いて観て楽しむ音楽会『ベトナムフェス in 西宮』を開催し双方の交流を深めたことも事業の一つと聞きました。

歴史的建造物を まもり そだて つたえる

2014年9月設立。
古き良き建造物を発見し、保存し、活用し、
まちづくりに活かすことで発足。

連絡先
〒662-0025 西宮市北名次町7-24
TEL・FAX: 0798-72-3150
Mail: m-ybun@beige.plala.or.jp
URL: <https://www.facebook.com/hanbunken>



NPO法人

阪神文化財建造物研究会

理事長 山崎 誠

ー設立したきっかけ

1995年1月17日に発

生した阪神・淡路大震災で
数多くの貴重な歴史的建造
物が被災し解体されたこと

を受けて、歴史的建造物を
事前登録する登録文化制度
が出来ました。そして実行

登録するヘリテージマネー
ジヤー（ひょうごヘリテー
ジ機構H2O約400名）が
生まれ、その中の阪神間有志
他が集まりNPO法人阪神
文化財建造物研究会（以下、
阪文建）を立ち上げました。

ーヘリテージマネージャー
とは？

“ヘリテージマネージャー”
(以下HM)とは、地域に眠る
歴史的建造物(文化遺産)を発
見し、保存し、活用し、まちづ
くりに活かす能力を持った人
達のことを言っています。

阪文建の皆様は、そのHM
として、歴史的建造物を“ま
もり、そだて、つたえる”活
動をしています。

ー古き良き建物を残すこと
の意味

皆が住む街の何気ない橋で
あったり、トンネル、神社の鳥

のできないものは文化財建造
物なのです。この文化財建造
物を街や国の資産として活か
す制度「文化財登録制度」を文
化庁が平成8年に誕生させま
した。今や登録有形文化財建
造物は全国で11,000件以
上登録されています。

この文化財は、昔の歴史を学
び向上し、繋がっていく重要な
資産だと考えているのです。だ
からこそ、その文化財を最大限
にどう活かしていくかを追求
していくことが、阪文建の使命
であり建造物を残す意味なの
です。

ー今後展開していきたい目標
がり、広めていくために…

現在、西宮市や尼崎市と協
働事業を行なっています。

事業内容は、広く市民の皆様
に西宮・尼崎・その他阪神間
の歴史を知り、現地の建造物
(古民家等)を「なんとかしてい
こう!」という目的で見てもら
い、学んでもらう「歴史建築観光
サポート育成講座」の開催を
しています。阪文建は、この育
成講座で産まれたサポートの
皆様が、市民と建造物の繋ぎ合
わせの役割になつてもらえるこ
とを期待しています。また、お

うちのお医者さんと言われば
いるホームドクターにも同行し素
人目線で文化財のあり方を見て
もらつとも、今後の展望とし



て必要と考えています。

ー今後展開していきたい目標
がり、広めていくために…

現在、阪急阪神ホールディ
ングスからイベントの依頼も
受けしており、行政との連携ば
かりでなく、今後は民間との
連携も強化していくことが繋
かりを進めていくことが最善
策と考え目標にしています。

現在、阪急阪神ホールディ
ングスからイベントの依頼も
受けおり、行政との連携ば
かりでなく、今後は民間との
連携も強化していくことが繋
かりを広くしていくことにな
ると考えています。

歴史的建造物を「まもり
そだて、つたえる」ということが「阪
神文化財建造物研究会」の目
標なのです！(訪問者 久保)

現役ランナーが作る温もりのあるマラソン大会



1982年発足以来35年
心のこもった大会を年間「五大会」運営。
2016年NPO法人へ

NPO法人
武庫川スポーツクラブ
理事長 官浪 伸次



35年前、毎月1回皆で走る
う！がきっかけで生まれたロード記録会は、今も毎月実施、毎回150～200人が参加します。それ以外に年間5つの大会

「武庫川新年走ろう会・武庫川ユリカモメウルトラ70kmマラソン・によるカモメ武庫川12時間走・武庫川くすのき駅伝・ユリカモメマラソンin武庫川」を主催。

なかでも「ユリカモメウルトラ70km」には全国から1000人ほど集まる人気の大会です。規模やお金の流れも大きくなり、これからこのクラブの役割と将来を見据えNPO法人設立に至

り、當利を目的としないランニングクラブとして発足。以後、クラブの組織と活動を充実させながら35年。2016年にNPO法人設立。今回、理事長の官浪さんにお話を聞きました。



—NPO法人設立に至るまで

—大切にしていること

—取材で感じたこと

—今後の展望・目標

親と一緒に走り、親子でも楽しめるレースになっています。そこから走る楽しさ・スポーツの面白さに目覚め、未来のアスリートを目指してくれることも楽しみです。」

「まず、視覚障害ランナーの伴走システムを完成させたいです。伴走スタッフを増やすことが必要です。また、初心者がマラソンを走れるようになるまで導いていくのも役割だと考えています。そして、将来のアスリートとして期待される子どもの育成も行っています。NPO法人になったことで、県をはじめ各所からの依頼で、大会運営全般を任せされることもあります。公的機関からの認知度も高まつたことで、益々連携を深めながら発展していきたいと考えています。」

—運営の実際

「大きな大会では、70～100名のボランティアを含むスタッフが動いています。前日のテストの設営から当日の準備・片付けに至るまで全てスタッフ手作りです。地域の子どもたちを対象に開催している『小学生1kmランニング』では、小学生以下も

「主催者自らが現役ランナーもあり、細やかな心配りを尽くして大会を運営しているので、『おもてなしの力が強い』と自負しています。例えば、給水所にイチゴを置いて女性の完走者に花を渡したりなど、走っているからこそランナーの気持ちがわかり、それが参加者に愛されながら長く発展している要因だと思いま

す。」雑誌「ランナーズ」選考《全国ランニング大会100選》にも選ばれるわけですね。」

理事長の官浪さんを始め会員の皆さんのが本当に走る事が好きで、その情熱がこれほどの数の大企運営とまたクラブが35年続いている秘訣だと納得しました。

ご自身のレースの経験談を語られる時の目の輝きが印象的で、この法人の活動を通して多くの市民が気軽にランニングを始め、慢性的な生活習慣病や精神的ストレスを解消するきっかけになるのです！と今後の発展が楽しみです。（訪問者 柚木・池田）

西宮市内のNPOが大集合！遊んで学べるフェスティバル！

入場無料

NPO フェスティバル 2018

2018.3.24(土)
10:00～16:00

場所：六湛寺公園（小雨決行）
西宮市役所の東側

みやたんも
くるよ！

西宮市観光キャラクター
みやたん
(無)第2018007号

ポカポカ
あつたかこたつで
ワークショップ！
工作やSTOMP♪
お手玉体験ができるよ！

美味しい西宮グルメや
体にやさしい食品
たのしい雑貨など
いろいろあるよ！

遊び 食べる 体験 学ぶ

六湛寺公園周辺地図

お問い合わせ：NPO等公益活動市民団体啓発事業実行委員会事務局（西宮市市民交流センター内）
TEL 0798-65-2251 E-mail info@shimin-koryu.net

主催：西宮市、NPO等公益活動市民団体啓発事業実行委員会 協力：さくら FM78.7MHz

聴覚障がいの皆さんにも楽しんでいただけるよう、手話サポートの窓口を設置しております（ブース No.21）



今回「みやしるべ」の取材協力を表明していただいた団体の皆様へ

（提携先団体を除く）

昨年春に、西宮市内のNPO等公益活動の市民団体の皆さんにアンケートを送りましたところ、多数の団体から「みやしるべ」の取材に「協力できる」との回答を頂きました。誠にありがとうございます。しかしながら紙数の関係もあり今回は、過去に一度も紹介できていない団体を優先して選択し、取材・掲載致しましたことをどうかご了承願います。引き続き、次号においても皆さまからの積極的なご協力をお願い申し上げます。

《本誌はNPO等公益活動市民団体啓発事業実行委員会の広報部会メンバーにより作成されました》

西宮いきいき塾：立田、NPO法人西宮市マンション管理組合ネットワーク：広尾、NPO法人障害者生活支援センター遊び雲：廣田、NPO法人兵庫県障害者タンデムサイクリング協会：横井、NPO法人こころ・からだ研究所：久保、ふるさとひょうご創生塾阪神マイスターズ：三戸、NPO法人すこやか女性プロジェクト：池田、NPO法人コミュニティ事業支援ネット：柏本、NPO法人武庫川スポーツクラブ：白石（編集責任者）